

令和4年度 第5回（8月）教育委員会定例会会議録

日 時：令和4年8月26日（金）15時～17時15分

場 所：村民センター 小会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 教育長職務代理者 清水 道直

出羽澤 和子・薄田 東・（オンラインで参加）田中 博美

事務局：清水 勝宏 教育次長 尾形 浩 学校教育専門員

書 記：池上 博子 以上8名

傍聴人：なし

1 開 会

2 教育長あいさつ

○8月7日に南原で熊による人的被害があり、南原区長さん・猟友会と相談し、熊よけ鈴を持った方がいいと助言をいただく。本日南部小学校の全児童、来週月曜日に南部小学区の中学生に熊よけ鈴が渡る予定です。熊よけ鈴が渡るまでの間地域の方、保護者の方が子どもの見守りに積極的に動いていただいた。地域のかってありがたいと強く感じました

○今日、中学校 1 年生が大芝で学友林の作業をしました。様子を見させていただいたんですが、「僕たちは何をやるの？」っていうような雰囲気があり、学習の目的がどう座っているのか等の課題があると感じてきました。

大芝の森に関して、村として50年先の構想を描いてます。それをどう子どもたちの学習に重ねていくかと関連する課題とも考えます

教育委員

○（関連して）地区の会合の中で、「50年先の大芝の森を考えた時に、子供たちが大芝の森について考えることを大事にしていって考えて欲しい」「特に総合的な学習時間が活発に展開されているが、50年先の大芝の森については是非学校の方でも目を向けてもらいたい」という意見が非常に多かった。

教育長

○産業課の構想等について教育委員会で説明をいただく場を設けたい。

教育委員

○了解

3 報告・確認事項

(1) 熊による被害及び熊よけ鈴について <会議資料0>

教育次長

○先ほどの「熊よけ鈴」を南部小学校学区の児童・中学生に渡す計画で動いてきました。小学生は本日、中学生は来週月曜日になります。数は370個。金額は1つ千円を少し超える額で約40万円です。毎年のことになるので1人ずつ記名し中学3年生まで利用し、経ヶ岳競歩大会でも活用していただくことを願っています。今後の状況により、北原・大芝等の地区について、検討もさせていただきます。また、児童生徒への指導を学校で行っています。

(2) 令和4年度全国学力状況調査結果について <会議資料1>

○学校教育専門員より会議資料を基に説明 ※非公開

※今後、学校から保護者に結果及び活用について学年便り等を通して説明を行う。

(3) 休日の部活動の段階的な地域移行について <会議資料2>

○学校教育専門員より説明

① 運動部活動改革の経緯・取組 R4.6 スポーツ庁資料

② 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革（概要）

③ 南箕輪村教委としての「休日部活動の地域移行に向けた推進プラン」（案）

ア これまでの取組

・情報交換 R3年度2回

総合型地域スポーツクラブ「わくわくクラブ」の立ち上げからの経緯

現状の受止め 課題 他

イ 中学校スポーツ文化活動運営委員会の開催：今後は地域部活動運営協議会（仮称）へ移行 9月16日予定

④ 村としての方向性

ア 「わくわくクラブ」の理念の再認識 地域の子どものスポーツ文化活動を地域で支える体制づくり

イ 教職員の意識改革

ウ 地域部活動運営協議会（仮称）の立ち上げ、上伊那8市町村との情報共有・協働

エ 観点

- ・勤務時間内に平日部活動を終えることができるか
- ・休日の活動を平日の部活動と異なるクラブとしての位置づけをどう考えるか
- ・休日の指導を希望する教職員は兼職兼業届を出す。
- ・休日の指導を希望しない教職員は、休日の活動に従事しない。
- ・休日の活動の指導者確保・謝金、指導の質 等

教育委員

○飯島中学校のモデルケースとしての試行の実情はどうか。

学校教育専門員

○飯島町では、体協組織があり、協力できる方が、休日部活動として試行。実際は中学校の部活動の顧問ところに、外部から指導者が入っている。土日は名称を「飯島スポーツクラブ」として動いてきている。中学の教職員が主な顧問であり、外部指導者の方だけの状況になっているかは不明。

○飯島中において部活の種目を減らしてきている現状がある。子どもの数が減ってくる中で、休日の部活動のあり方が重なってきている。職員が異動したらどうなるかに合わせて本拠地での指導が描かれてきている。いろいろなことをどう整えるか、課題となっています。

吹奏楽部についてですが、これからの休日の活動は、大人の方とか高校生とか小学生と一緒に活動することが描かれる。そういう講座があれば、地域の方とともに、中学生が音楽を楽しむことも考えられる。

剣道、フェンシング、陸上など競技種目によっての在り方も異なってくると考えられます。本当に新しい発想でやっていく時代になってきているのではないかと考えます。

教育委員

○中学高校はすごくスポーツに純粋に取り組める時期。今までは先生方が献身的な勤務により教えてくださっている。多分先生方は子どものためにという気持ちが強いので一生懸命向き合ってくれていると思うし、そのことを子どももすごく感じて、一生懸命やっている。保護者的には本当にこの時期こそスポーツに向き合ってもらいたい、この時期こそ何か一生懸命取り組んでもらいたい思いがある。

○バレーボールに関して思うのは、中学に入る前からやっていて中学のバレーボール部に入って、そのチームで大会に出ていく。その学校がすごく強ければ、全国を目指すことができる場合がある。これから先を考えた時に、月から金までは中学の部活、土日は他の中学の子たちと練習をする。その可能性が出てくるわけですね。そうなった時。中学のチームとして中体連に参加できるのか。地域のクラブチームも出ることができるのか。クラブチームとして大会を見ると、絶対クラブチームの方が強くなっていくのではないか。やりたい子たちが入り、指導者も集まるのであれば、学校での部活はどうなるのかと思う。指導者は、月から金は南中だけれど、土日は自分の住んでいる伊那市のチームを見るってことですよね。

学校教育専門員

○そのことについても課題の一つです。土日に中学生が高校生と合同で練習することや、指導者への謝礼、生徒の平日・土日の活動の在り方と合わせて考えていく必要があると思います。

○ワクワクの中での卓球の在り方や、陸上競技は土日に伊那の陸上競技場を会場として高校生・一般の方と一緒に練習、フェンシングは箕輪町へということや水泳はスイミングでの活動が動いてきている等、競技種目によって柔軟にみていくことも大切ではないかと思います。

教育長

○わくわくクラブ立ち上げのときには、学校の部活をクラブで受けたんだけど、学校でそれでは困るということで学校に戻した経緯があると聞いている。それを踏まえると、学校として教育活動の一環である部活を転換していくことができるかがハードルではないかと思う。

地域をどう見るかということで、先ず、村として村で考えながらエリアとしてどう見ていくかを近隣市町村・上伊那等で考えていく必要があると思っています。そのために今の動きとなっている。進めながら、課題を教育委員会でも共有していきます。また、「子どもの願い」を根底に置くことを大事にしていく必要があります。

スポーツ文化運営委員会が今迄正直言って動いてこなかったと思っています。今後スポーツ文化運営委員会が動きながら、スポーツ推進委員とも協働していく必要があると考えます。

○スポーツ推進員の協働を含め9月の2日の小委員会、16日の委員会と協議を重ねていきます。

学校教育専門員

○教育委員が話された保護者の方の力を借りるってことの大事さを思います。

子どもたちがやりたいっていう環境をどう創っていくかを考えた時に、地域という言葉の中に保護者がある。保護者はこの3年間関わるので、休日の活動をどう作っていくのか保護者を含め皆が知恵を出していくことを大事にしたいと思います。

教育長

○今後、都度々話題にして参ります。今日のところはここまでとします。

(4) 新型コロナウイルス感染症に関して <会議資料3>

①県通知「学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドライン」8月24日付の報告・確認

②小中学校保護者宛「新型コロナウイルス対応確認事項」8月23日付の報告・確認

③南箕輪村3校「旅行行事実施ガイドライン」8月24日付の報告・確認

(5) 児童・生徒数について <会議資料4>

※会議資料にて報告

(6) 事故報告 <会議資料5>

※非公開

(7) 教育委員から

教育委員

○新任教育委員研修会の内容で、教育委員会で次のことが話題になった。

- ① コロナで出席停止の場合にオンラインで授業参加しても出席扱いにならないが、不登校でオンラインでの授業参加は出席扱いとするか否か。
- ② 教育委員会は政治的・宗教的に中立ということで、協賛・後援は慎重に考えた方がよい。
- ③ 教員志望者が少なくなっている中、若手職員が頑張っている。大切に見守り応援しよう。

教育長・教育委員

○①に関していくつかの要件があるが、オンラインで「つながる」ことを大事に受け止めたい。このことが、本人の自立に向けて有効であると校長が判断すれば出席扱いとすることができる。基本的には出席扱いが適切と考える。

教育長

- ②については、今までも慎重に判断させていただいています。今まで、必要があれば教育委員会に諮ることとし、事務局の中で協議し教育長の専決としてきている。
- ③については、同感です。

教育委員

○先日行われた議会「福祉教育委員」との懇談で、現在 ICT 教育が進められている。各校において、ICT が不得手な教員への研修・サポートが適切になされていると思う。

○安倍元首相の「国葬」についてどう考えているか

教育長

○現在、国からの通知等は届いていない。通知が届いた場合必要に応じて臨時教育委員会を持つかもしれない。現在のところ弔意を表するかどうかは未定です。

(8) 8月事業報告・9月事業計画について <会議資料6>

※会議資料にて報告・確認

(9) 9月・10月教育委員会定例会日程について

9月26日(月) 15時00分から 村民センター

10月25日(火) 15時00分から 村民センター

(10) その他

①令和5年度義務教育関係諸学校教育職員人事異動方針について<会議資料7>

※会議資料にて確認

②総合教育会議 満蒙開拓平和記念館について
教育長

<会議資料8>

○総合教育会議において、阿智村にある満蒙開拓平和記念館「自治体パートナー制度」登録に関する資料としたい。

○9月28日に総合教育会議を予定していたが、村長の都合により別日を行う予定。

③村議会福祉教育常任委員会との懇談会の振り返り

4 その他

○ 県市町村教育委員会研修総会

期日 10月21日(金) ※今年度は日帰りで

会場 佐久市 佐久平交流センター ※詳細後日

6 閉 会